

パブリックコメントの結果について

募集期間：平成 23 年 2 月 9 日～平成 23 年 2 月 25 日

応募件数：1 件

番号	応募方法	意見等	回 答
1	Eメール	<p>もう少し、弘前らしい都市計画をした方がいいと思う。景観配慮型の信号機も塗装がはげてきていたり、ちょっと弘前公園の周りをそれだけで既存の殺風景な住宅街。案内も市内全体的に少なすぎると思う。</p> <p>そういった細かいところを直していくべきだと思う。</p> <p>また、弘前城旧天守閣の再建を全国から寄付を集めてやればいいと思う。</p> <p>資料があまりないのかもしれないが、お金の問題とか、文部科学省などから許可が下りないとかの問題はお金は寄付を集めれば再建に必要な金額の6,7割は集まると思うし、天守閣再建については特別に許可する制度があるみたいなので可能ではないか？ぜひ、検討してみたい。</p>	<p>本計画では、歴史的風致を維持向上させるための基本方針の一つとして「歴史的風致を活用するための周辺環境整備の推進」を掲げており、弘前公園周辺など歴史的風致を色濃く残す地区においては、歴史性に十分配慮した街路整備や、電線類地中化及び案内板の設置等の施設整備を実施し、歴史的資源を繋ぐ歩行者ネットワークの形成に努めるとともに、歴史的景観の阻害要因となる建築物や広告物等に対して適切な規制誘導等を行うなど、回遊性、利便性、景観等の向上を目的とした周辺環境整備を推進することとしています。</p> <p>ご指摘のとおり、きめ細やかな街並みづくりや弘前ならではの景観形成などは、弘前の魅力を活かした街づくりを進めるうえで大切であると認識しています。</p> <p>したがいまして、本計画を進めていく中で、関係機関とも十分調整を図りながら配慮して参りたいと思います。</p> <p>また、弘前城旧天守閣（旧天守）の再建にあたっては、文化庁の許可を受ける必要があります。</p> <p>その際、建物の大きさ、構造が分る資料が必要となりますが、現在のところ、文献資料である「津軽一統志」に階層が推定される記述がみられるものの、それ以外の資料がありません。</p> <p>今後、構造等を示す新たな資料（例えば設計図など）が発見されない限り、具体的な検討は困難と考えられます。</p> <p>「津軽一統志」享保 16 年（1731）に完成。</p> <p>津軽 5 代藩主信寿が、後世になって、家臣に命じて藩史、地域史を編纂させたもの。「天守に落雷があつて、天守と所蔵の武具類をことごとく焼失した。」との記述がある。</p>